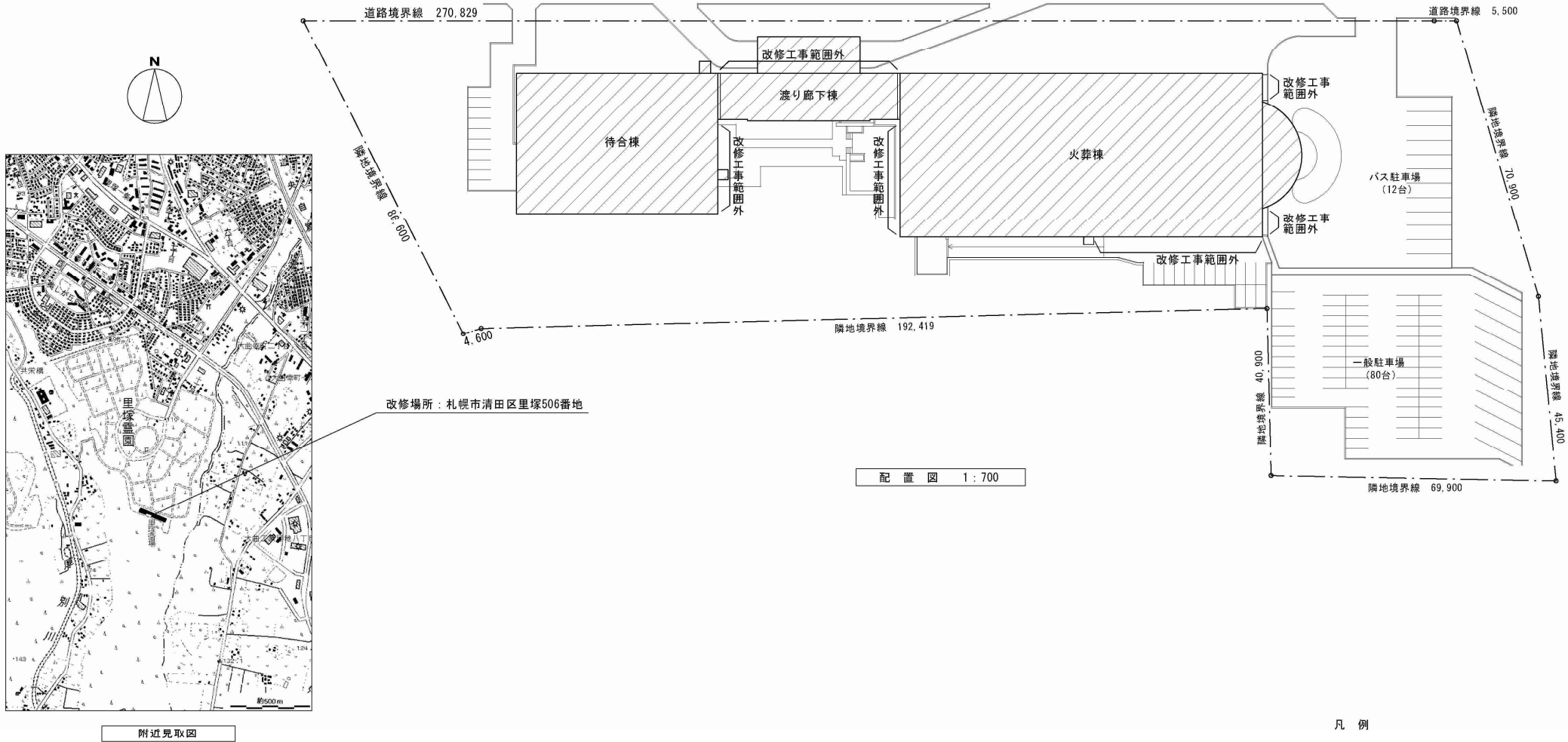


点検対象：待合棟、渡り廊下棟、火葬棟
対象部分：外壁全面タイル
対象面積：約4,118㎡



凡 例

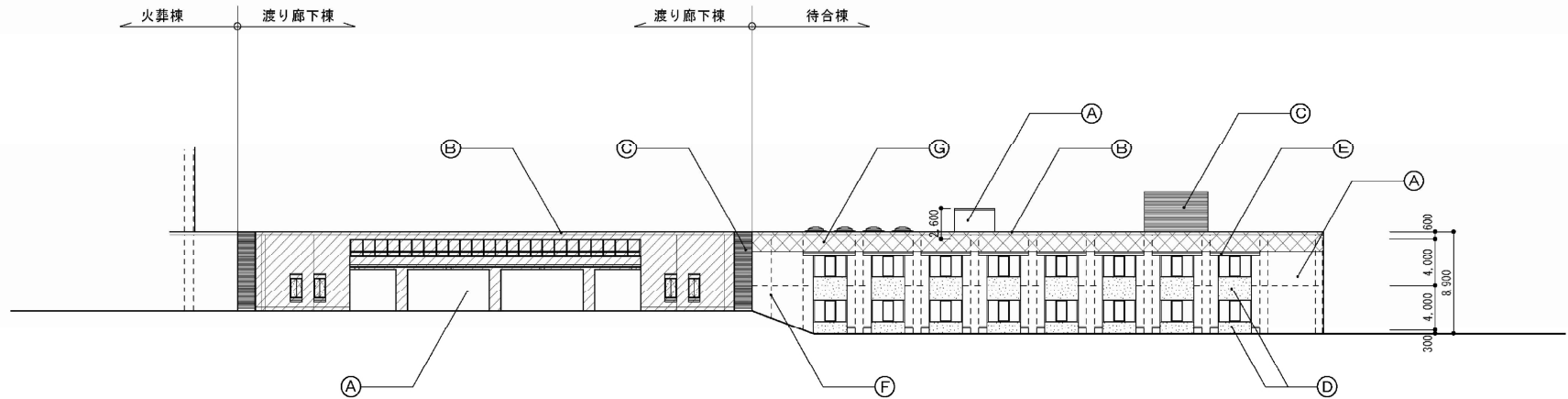
改修工事該当建物を示す

外部仕上表						
＜火葬棟＞						
部 位		改 修 前	記 号	改 修 後		記 号
外 壁（１、２階） （独立柱 根廻り共）	炬器質タイル（三丁掛、小口、イギリス式貼） ひび割れ及び欠損タイル撤去 サッシ廻り腰部分（一部） ± 30 特殊化粧型枠打放しコンクリート フッ素樹脂塗装（カラークリア）		a-1	炬器質タイル：撤去部分は炬器質タイル（三丁掛、小口、イギリス式貼）新設、浮きタイルまたは下地浮き部分は ｱｶｰﾋﾞﾝｼﾝｸﾞ 部分 $\text{1}\phi$ 杉樹脂注入工法にて補修 サッシ廻り腰部分：下地調整（RE種）の上、ＤＰ新設		A-1
	平 部	超速硬化ウレタン防水通気緩衝工法（無機質系トップコート仕上）		平 部	高圧洗浄（10Mpa程度）の上、水性アクリル系（無機質調）トップコート仕上新設	B-1
	ハイスайдライト立上り	超速硬化ウレタン防水通気緩衝工法（無機質系トップコート仕上） 既存防水層撤去 アルミ水切り既存のまま	b-1	ハイスайдライト立上り	立上りと平場防水層の入隅部分はシーリングにて止水処理を行う	B-2
	壁立上り	超速硬化ウレタン防水通気緩衝工法（無機質系トップコート仕上） 既存不良部撤去（18.55㎡） 防水押え金物既存のまま	b-2	壁立上り	立上りと平場防水層の入隅部分はシーリングにて止水処理を行う	B-3
屋上１（２階屋上）	バラベツト立上り	超速硬化ウレタン防水通気緩衝工法（無機質系トップコート仕上） 既存不良部撤去（43.8㎡）	b-3	バラベツト立上り	撤去部は不陸調整（樹脂モルタル ± 3 ）後、健全部は高圧洗浄（10Mpa程度）後、ウレタン防水（X-2）新設の上、水性アクリル系（無機質調）トップコート仕上新設	B-4
	平 部	超速硬化ウレタン防水通気緩衝工法（アクリルウレタン系トップコート仕上）		平 部	高圧洗浄（10Mpa程度）の上、アクリルウレタン系トップコート仕上新設	B-5
トップライト２	立上り	超速硬化ウレタン防水通気緩衝工法（アクリルウレタン系トップコート仕上） アルミ水切り取外し	b-10	立上り	高圧洗浄（10Mpa程度）の上、アクリルウレタン系トップコート仕上新設 アルミ水切り再取付	B-11
	平 部	超速硬化ウレタン防水通気緩衝工法（無機質系トップコート仕上）		平 部	高圧洗浄（10Mpa程度）の上、水性アクリル系（無機質調）トップコート仕上新設	B-1
屋上２（２階屋上）	バラベツト立上り	超速硬化ウレタン防水通気緩衝工法（無機質系トップコート仕上） 既存不良部撤去（12.12㎡） 防水押え金物取外し	b-2	バラベツト立上り	撤去部は不陸調整（天端共樹脂モルタル ± 3 ）後、健全部は高圧洗浄（10Mpa程度）後、ウレタン防水（X-2）新設の上、水性アクリル系（無機質調）トップコート仕上新設 防水押え金物再取付	B-3
	腰壁部	コンクリート打放シ		腰壁部	ひび割れ補修	B-12
	階段室壁立上り	超速硬化ウレタン防水通気緩衝工法（無機質系トップコート仕上） 既存不良部撤去（1㎡を見込む）、防水押え金物取外し	b-2	階段室壁立上り	撤去部は不陸調整（天端共樹脂モルタル ± 3 ）後、健全部は高圧洗浄（10Mpa程度）後、ウレタン防水（X-2）新設の上、水性アクリル系（無機質調）トップコート仕上新設 防水押え金物再取付	B-3
	平 部	超速硬化ウレタン防水通気緩衝工法（無機質系トップコート仕上）		平 部	高圧洗浄（10Mpa程度）の上、水性アクリル系（無機質調）トップコート仕上新設	B-1
屋上３ （PHR陸屋上）	バラベツト立上り	超速硬化ウレタン防水通気緩衝工法（アクリルウレタン系トップコート仕上） オープン笠木取外し	b-11	バラベツト立上り	高圧洗浄（10Mpa程度）後、ウレタン防水（X-2）新設の上、水性アクリル系（無機質調）トップコート仕上新設 オープン笠木再取付け	B-13
	庇	超速硬化ウレタン防水通気緩衝工法（アクリルウレタン系トップコート仕上）		庇	高圧洗浄（10Mpa程度）の上、アクリルウレタン系トップコート仕上新設	B-5
玄関庇	ブリッジシーリング	撤去	c-1	ブリッジシーリング	50×10新設	C-1
	天井： ± 1 アルミ押出型材パネル（電解着色）、独立柱壁：花崗岩本磨き ± 20 、幕板： ± 2 アルミ折曲加工 電解着色（ ± 20 発泡ウレタン裏打）			天井：既存のまま 独立柱壁：既存のまま 幕板：既存のまま		
バラベツト笠木	アルミ折曲加工（電解着色）			洗浄の上、ブリッジシーリング50×10新設		C-1
ピロティ１ （風除室１廻り）	床：花崗岩（ ± 30 荒磨き）（ ± 30 発泡成型断熱材敷 ± 20 + ± 30 モルタル） 軒天： ± 1 アルミ押出型材パネル電解着色（ ± 20 発泡ウレタン裏打） 壁・独立柱：外壁に同じ		a-1	床：既存のまま 軒天：既存のまま 壁・独立柱：撤去部分は炬器質タイル（三丁掛、小口、イギリス式貼）新設、浮きタイルまたは下地浮き部分は ｱｶｰﾋﾞﾝｼﾝｸﾞ 部分 $\text{1}\phi$ 杉樹脂注入工法にて補修		A-1
定礎板	花崗岩本磨き W600×H400× $\text{t}40$ 文字 サンドブラスト彫			既存のまま		
煙 突	煙突ライニング材（岩綿成型品 丸型） $\text{t}50$ $\phi 712$ （内径）、鋼管 $\phi 318.5$ $\times$ $\text{t}6.9$ 打込 煙突ライニング材（岩綿成型品 丸型） $\text{t}50$ $\phi 314$ （内径）			既存のまま		
標示板	ブロンズ（文字：明朝体金文字）W584×H331.5			既存のまま		
断熱材	外壁（壁・柱型・梁型） ± 30 ROOFスラブ ± 50 （梁型は下端まで ± 30 ）発泡成型断熱材打込とする			既存のまま		

＜渡り廊下棟＞						
部 位		改 修 前	記 号	改 修 後		記 号
外 壁 （根廻り 独立柱共）	炬器質タイル（三丁掛、小口、イギリス式貼） ひび割れ及び欠損タイル撤去 サッシ廻り腰部分（一部） ± 30 特殊化粧型枠打放しコンクリート フッ素樹脂塗装（カラークリア） EXP. J金物：アルミ既製品（電解着色）		a-1	炬器質タイル：撤去部分は炬器質タイル（三丁掛、小口、イギリス式貼）新設、浮きタイルまたは下地浮き部分は ｱｶｰﾋﾞﾝｼﾝｸﾞ 部分 $\text{1}\phi$ 杉樹脂注入工法にて補修 サッシ廻り腰部分：下地調整（RE種）の上、ＤＰ新設 EXP. J金物既存のまま		A-1
	平 部	超速硬化ウレタン防水機械的固定工法（アクリルウレタン系トップコート仕上） 全面ケレン	b-4	平 部	高圧洗浄（10Mpa程度）後、下地処理（ウレタン防水材 1kg/㎡）の上、アクリルウレタン系トップコート仕上新設	B-6
屋上４	バラベツト立上り	超速硬化ウレタン防水機械的固定工法（アクリルウレタン系トップコート仕上） 不良部撤去（10㎡）	b-5	バラベツト立上り	高圧洗浄（10Mpa程度）後、ウレタン防水（X-2）新設の上、アクリルウレタン系トップコート仕上新設	B-7
	屋 上	超速硬化ウレタン防水通気緩衝工法（アクリルウレタン系トップコート仕上）		屋 上	高圧洗浄（10Mpa程度）の上、アクリルウレタン系トップコート仕上新設	B-5
車寄せ屋上	庇	超速硬化ウレタン防水通気緩衝工法（アクリルウレタン系トップコート仕上）		庇	高圧洗浄（10Mpa程度）の上、アクリルウレタン系トップコート仕上新設	B-5
	天井： ± 1 アルミ押出型材パネル（電解着色）、独立柱壁：炬器質タイル（三丁掛、小口、イギリス式貼）、幕板： ± 2 アルミ折曲加工（電解着色） ± 20 発泡ウレタン裏打			天井：既存のまま 独立柱壁：既存のまま 幕板：既存のまま		
バラベツト笠木	アルミ折曲加工（電解着色）、ブリッジシーリング撤去		c-1	洗浄の上、ブリッジシーリング50×10新設		C-1
軒天（ピロティ２）	± 1 アルミ押出型材パネル（電解着色） 端部見切材： ± 2.3 アルミ折曲加工（電解着色） ± 20 発泡ウレタン裏打（ ± 100 グラスウール敷）			既存のまま		

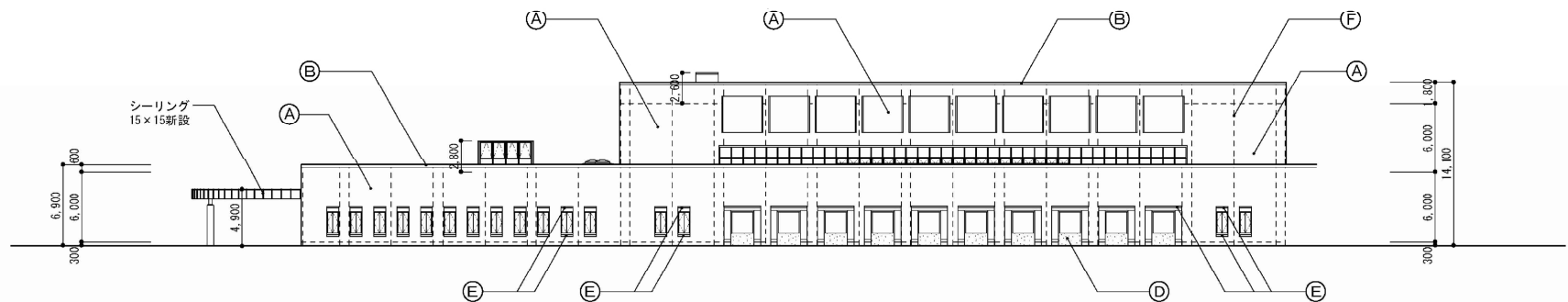
＜待合棟＞						
部 位		改 修 前	記 号	改 修 後		記 号
外 壁 （根廻り共）	炬器質タイル（三丁掛、小口、イギリス式貼） ひび割れ及び欠損タイル撤去 サッシ廻り腰部分（一部） ± 30 特殊化粧型枠打放しコンクリート フッ素樹脂塗装（カラークリア）		a-1	炬器質タイル：撤去部分は炬器質タイル（三丁掛、小口、イギリス式貼）新設、浮きタイルまたは下地浮き部分は ｱｶｰﾋﾞﾝｼﾝｸﾞ 部分 $\text{1}\phi$ 杉樹脂注入工法にて補修 サッシ廻り腰部分：下地調整（RE種）の上、ＤＰ新設		A-1
	平 部	超速硬化ウレタン防水機械的固定工法（アクリルウレタン系トップコート仕上）、ドレン廻り切開水抜き（1箇所 900×900）	b-6	平 部	高圧洗浄（10Mpa程度）の上、アクリルウレタン系トップコート仕上新設	B-5
屋上５	トップライト３立上り	超速硬化ウレタン防水機械的固定工法（アクリルウレタン系トップコート仕上） アルミ水切り取外し	b-7	トップライト３立上り	高圧洗浄（10Mpa程度）の上、アクリルウレタン系トップコート仕上新設 アルミ水切り再取付	B-8
	バラベツト立上り	超速硬化ウレタン防水機械的固定工法（アクリルウレタン系トップコート仕上） 不良部撤去（0.06㎡）	b-5	バラベツト立上り	撤去部は不陸調整（樹脂モルタル ± 3 ）後、健全部は高圧洗浄（10Mpa程度）後、ウレタン防水（X-2）新設の上、アクリルウレタン系トップコート仕上新設	B-7
	バラベツト笠木	アルミ折曲加工（電解着色）、ブリッジシーリング撤去	c-1	洗浄の上、ブリッジシーリング50×10新設		C-1
風除室７屋上	平 部	超速硬化ウレタン防水通気緩衝工法（アクリルウレタン系トップコート仕上） EXP. J金物・アルミ製笠木既存のまま		平 部	高圧洗浄（10Mpa程度）の上、アクリルウレタン系トップコート仕上新設	B-5
	壁	± 2 アルミ折曲パネル（電解着色）、防水立上り水切笠木：アルミ既製品（ ± 2 アルマイト処理）		壁	既存のまま	
屋上６ （トップライト３屋上）	屋 上・バラベツト立上り	超速硬化ウレタン防水機械的固定工法（アクリルウレタン系トップコート仕上）		屋 上・バラベツト立上り	高圧洗浄（10Mpa程度）の上、アクリルウレタン系トップコート仕上新設	B-5
	壁	コンクリート打放しフッ素樹脂塗料（カラークリア）		壁	既存のまま	
屋上７（階段室Ｄ）	平 部	アスファルト露出防水の上、超速硬化ウレタン防水機械的固定工法（アクリルウレタン系トップコート仕上） 既存防水層全撤去	b-8	平 部	不陸調整（樹脂モルタル ± 5 ）後、ウレタン防水（X-2）新設の上、アクリルウレタン系トップコート仕上新設	B-9
	バラベツト立上り	アスファルト露出防水の上、超速硬化ウレタン防水機械的固定工法（アクリルウレタン系トップコート仕上） 既存防水層全撤去、金属成面板 ± 6 撤去、オープン笠木取外し	b-9	バラベツト立上り	不陸調整（樹脂モルタル ± 3 ）後、ウレタン防水（X-2）新設の上、アクリルウレタン系トップコート仕上新設 オープン笠木再取付け	B-10
ＥＬＶ棟屋上	平 部	超速硬化ウレタン防水通気緩衝工法（無機質系トップコート仕上） EXP. J金物・アルミ製笠木既存のまま		平 部	高圧洗浄（10Mpa程度）の上、水性アクリル系（無機質調）トップコート仕上新設	B-1

共通事項・・・全ての既存ルーフドレン管は第一雨水槽まで洗浄すること。																									
工 事 名		核 対		設 計		製 図		凡 例							 丸竹豊建業株式会社 065-0041 札幌市東区本町1条6丁目1番地 TEL (011) 782-2202 FAX (011) 783-9011					図面番号		D-10		概ノ内	
図名		SCALE		DATE											設計番号										
外部仕上表		—		R2. 3																					



北側立面図（渡り廊下棟）

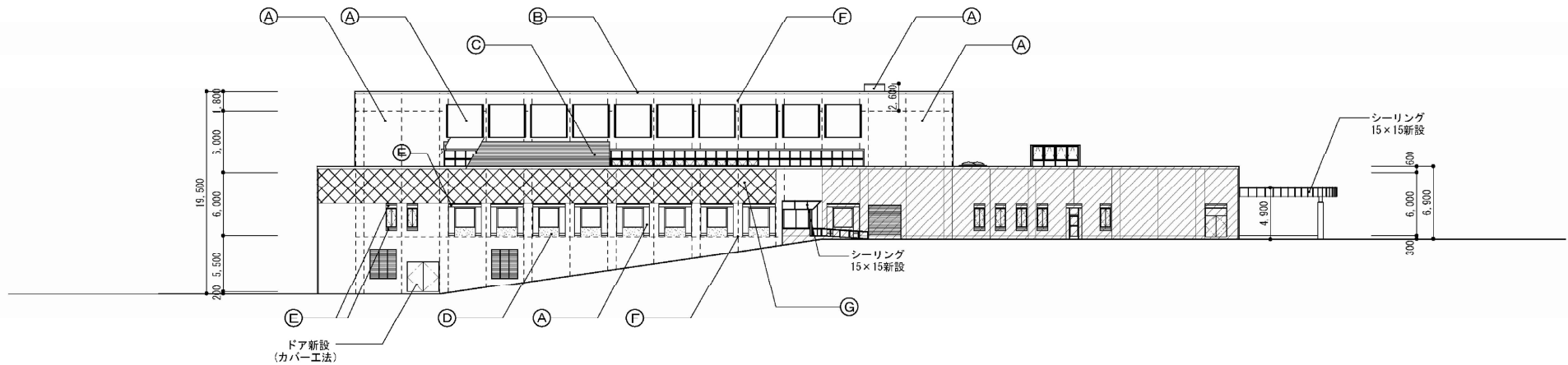
北側立面図（待合棟）



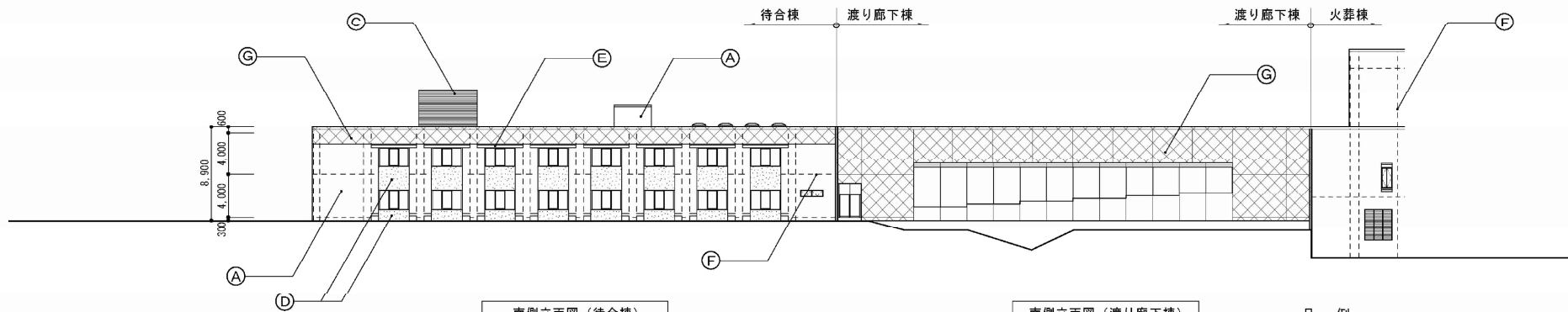
北側立面図（火葬棟）

凡 例

	仕 上
(A)	炉器質タイル（三丁掛、小口、イギリス式貼）一部新設 浮きタイルまたは下地浮き部分は7カーベーション® 部分球® 樹脂注入工法にて補修
(B)	アルミ製笠木 既存のまま
(C)	アルミルーバー スクリーン 既存のまま
(D)	特殊化粧型枠打放しコンクリート 下地調整（RB種）の上、DP新設
(E)	PCコンクリート 下地調整（RB種）の上、DP新設
(F)	伸縮目地シーリング 15×15 新設
(G)	タイル目地詰め範囲を示す
	改修工事範囲外を示す



南側立面図（火葬棟）



南側立面図（待合棟）

南側立面図（渡り廊下棟）

凡 例

	仕 上
(A)	炉器質タイル（三丁掛、小口、イギリス式貼）一部新設 浮きタイルまたは下地浮き部分は「アカセ」シンク 部分球 樹脂注入工法にて補修
(B)	アルミ製笠木 既存のまま
(C)	アルミルーバー スクリーン 既存のまま
(D)	特殊化粧型枠打放しコンクリート 下地調整（RB種）の上、DP新設
(E)	PCコンクリート 下地調整（RB種）の上、DP新設
(F)	伸縮目地シーリング 15×15 新設
(G)	タイル目地詰め範囲を示す
	改修工事範囲外を示す

工 事 名
里塚斎場外部改修工事

図 名
改修後 南側立面図

検 図 設 計 製 図 凡 例

SCALE
1 : 300

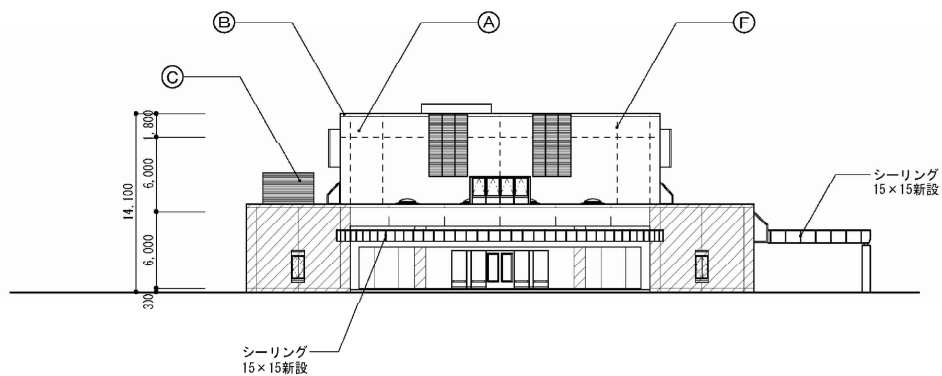
DATE
R2 3



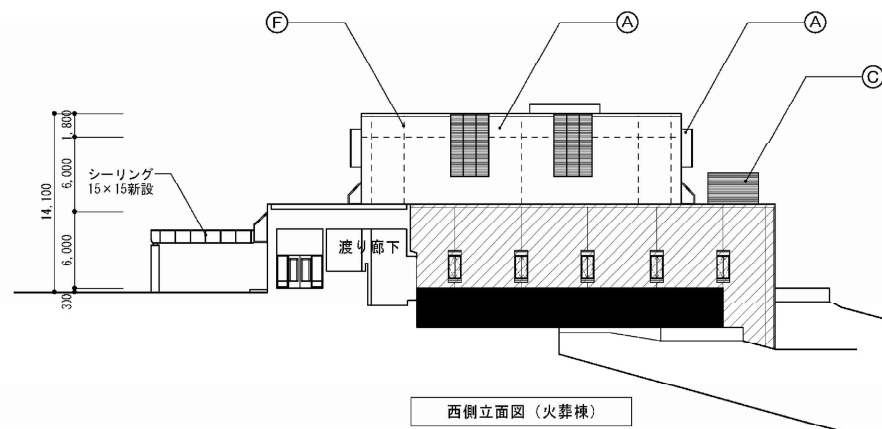
丸竹豊建業株式会社

065-0041
札幌市東区本町1条0丁目1番地
TEL (011) 782-2202
FAX (011) 783-9011

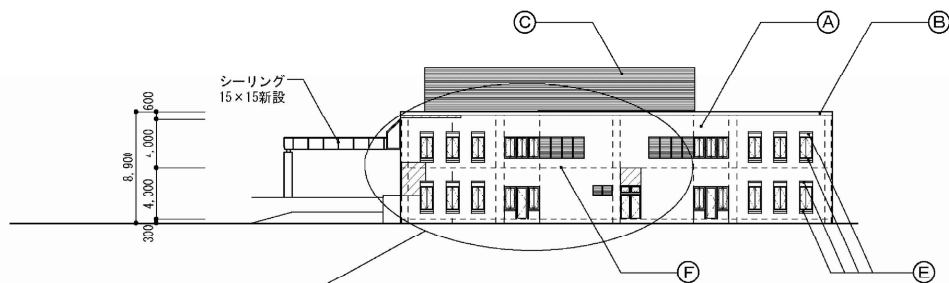
図面番号
D-24
枚ノ内
設計番号



東側立面図（火葬棟）

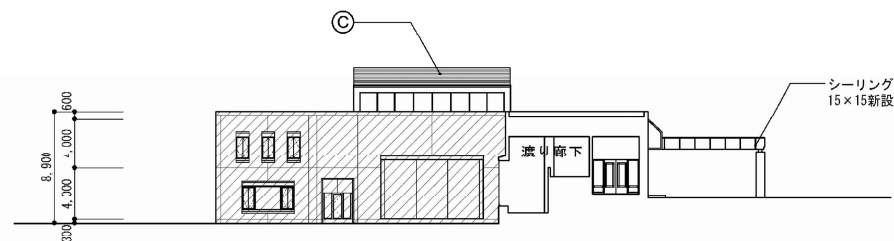
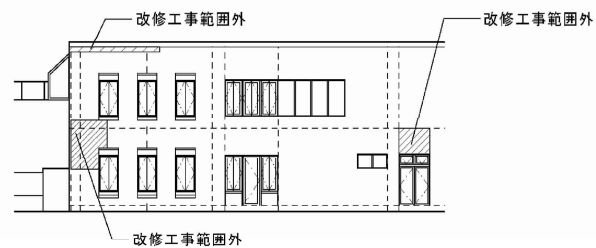


西側立面図（火葬棟）



西側立面図（待合棟）

拡大図 1:200



東側立面図（待合棟）

凡 例

	仕 上
(A)	炉器質タイル（三丁掛、小口、イギリス式貼）一部新設 浮きタイルまたは下地浮き部分は70℃～90℃部分球 杉樹脂注入工法にて補修
(B)	アルミ製笠木 既存のまま
(C)	アルミルーバースクリーン 既存のまま
(D)	特殊化粧型砕打放しコンクリート 下地調整（RB種）の上、DP新設
(E)	PCコンクリート 下地調整（RB種）の上、DP新設
(F)	----- 伸縮目地シーリング 15×15 新設
	改修工事範囲外を示す



丸竹豊建業株式会社

065-0041
札幌市東区本町1条0丁目1番地
TEL (011) 782-2202
FAX (011) 783-9011

図面番号

D-26

枚ノ内

設計番号